

YOUTH MANNA

Be

Grace
Community
2024

Acts 2:42



彼らはいつも、使徒たちの教えを守り、交わりを持ち、パンを裂き、祈りをしていた。
使徒の働き 2章42節

2024/3/18(月)

マタイ25:14-30

- 1タラント、2タラント、5タラントを主人から預かった人達は、それぞれどのようにそのお金を用いたかな？ (16-18)
- 神様は、彼らの成果をどう評価したかな？ (19-28)
- ★神様は、私達にもそれぞれのキャパシティに応じて賜物を与えておられる。問題は賜物が何であるか、どれだけ沢山与えられているかということではなく、どのように用いるかである。
- ①賜物を磨くために、君は何ができるかな？
- ②賜物を隠すのではなく用いよう (25)。早速教会や学校でできることはあるだろうか。神様はすぐに (15) 用いることを望んでいる。
- ③自分の賜物がよく分からないという人は、神様に示してもらえよう、祈ってみよう。

2024/3/19(火)

マタイ25:31-46

イエス様は再びこの世界に来て栄光の座についてさばきをすると語っています。そしてその時イエス様は数々の愛のわざをした者たち(羊)としなかった者たち(山羊)に分けます。イエス様は最も小さい者にしたことを喜び、しなかったことも覚えておられます。イエス様はいつも最も小さい者、誰にも覚えられてない者、孤独な者、苦しめる者を気にかけています。

祈ろう！！

- イエス様のような愛の心が注がれるように
- 愛のわざに励んでいた者たちように毎日小さな愛を表すことができるように

2024/3/20(水)

マタイ26:1-13

祭司長たちや民の長老たちは大祭司カヤパの邸宅に集まって、イエス殺害のための相談をした。正当な議論で勝機を見出せなかった彼らが、イエスを「だまして」捕らえることが決められた。その一方で、民の間に騒ぎが起こることへの恐れを確認している。

また、イエスはシモンの家で、一人の女による香油注ぎを受け入れた。弟子たちはそれを「無駄」として怒ったが、イエスはそれを喜ばれた。

イエス様が私たちのためになされたことを思い巡らし、私がイエス様に何を捧げるべきかを祈ろう！

2024/3/21(木)

マタイ26:14-25

今日の箇所はユダが祭司長のところに行きイエスさまを銀貨30枚で引き渡す約束をしたところである。12弟子の一人として、イエスさまをすぐ近くで見、多くを学び、共に過ごして来た人物が裏切るという少し考えにくいことだが、これも人間の弱さなのかもしれない。そしてここだけを見た時、イエスさまが弟子選びに間違えたのか？と思うかもしれないが、自分を愛し従う人だけでなく、裏切る可能性のある人にまでも愛すことをやめなかったとも考えられる。

神様を知っていると、信じている・従っているは同じではない。
信じ従う弟子として歩もう！！

2024/3/22(金)

マタイ26:26-35

- 31-35vを読もう。弟子たちが賛美していた時、イエス様は何を言われたかな？
- 35v「自分は決してつまづかない！」と言ったのはペテロだけだった？なぜ弟子たちはイエス様のことばより自分の気持ちに留まったと思う？
- きみは気持ちが盛り上がり過ぎて大事な話を聞き逃した、という経験ってない？弟子たちがみんなそうだったように、僕らには「聞こえていても聴けてない」ってことがあるんじゃないかな。「大切なことを大切にできるように助けて下さい」って祈ろう。

2024/3/23(土)

マタイ26:36-46

イエス様がゲツセマネへ弟子たちと向かい、神様との一対一の時間を持ち祈っているね。ペテロたちはとりなしの祈りを任されたけれど、眠気にまけて眠ってしまった。
その中だったけれど、イエス様は天のお父さんのみこころを1番だと受け取り、十字架への道を受け入れていたね。そして寝ていた弟子たちにも「立ちなさい。さあ行こう。」とその時まで一緒に歩もうとされた。
不十分な私たちでも共に、主の働きをしようと語ってくださる神様の愛に感謝して、主の望むことを受け取り行動していこう！

2024/3/24(日)

マタイ26:47-56

ユダがイエス様のもと来て、「先生」と呼び、口づけをしています。それは裏切りの合図でした(48)。ユダに対してイエス様は「あなたがしようとしていることをしなさい」と語ります。聖書の脚注には「何のために来たのですか」とあり、この問いかけはユダが来た理由を尋ねているのではなく、ユダに対するイエス様の愛と嘆きを見ることが出来ます。イエス様は神の御力を使わず、弟子には「剣をもとに収めなさい」と命じられました。イエス様にとって剣は脅したり、人を傷つけたりするためのものではなかったからです。この時に弟子たちは逃げてしまいました。逮捕の場面です。イエス様がすべてを導いておられ、イエス様が救いのご計画に主権を持っておられるということがここからわかります。
イエス様の十字架は私たちの罪が赦されるためのものでした。感謝して祈ろう！